

第 138 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 28 年 11 月 24 日（木） 13：30～14：53

場 所：浜田公民館図書室

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長 佐々木課長 森脇課長 岡田室長

山根課長 島田館長 長見所長 渡邊課長 村瀧室長

大崎分室長（欠席） 栗栖分室長 森下分室長 吉野分室長（欠席）

書記：小林係長 日ノ原主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 第 1 回総合教育会議の議題について（資料 1）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

(1) 浜田市 PTA 連合会と教育委員との意見交換会日程について（資料 12）

(2) 浜田市教育委員会教育長及び委員名簿の配布

1 教育長報告

石本教育長

まず皆様ご存知のように梅津元教育委員長が秋の叙勲で瑞宝双光章を受章された。浜田市内にお住いの義務教育の関係の方で叙勲をもらわれたのは三上先生以来かと思う。間がだいぶ空いたが今回梅津先生が受章された。ご本人も大変喜んでおられた。我々も大変嬉しく思っているところである。お喜びを申し上げたい。

それからお手元に新しい委員方の名簿が配ってある。先月の教育委員会の中で藤本委員にご挨拶いただいたが、11 月 19 日から 32 年 11 月 18 日まで 4 年間、教育委員としてお世話になることとなったので、引き続きよろしく願いしたい。

藤本委員

先月簡単にご挨拶したので、今日は簡単に。よろしく願いしたい。

石本教育長

① 10 月 27 日（木）平成 28 年度浜田市教育委員会ボランティア表彰・表彰式（周布小学校）

平成 28 年度浜田市教育委員会ボランティア表彰・表彰式を周布小学校で行った。その前の週には松原小学校でボランティア表彰があり、これは山本部長に出席してもらった。

② 10月27日(木)内閣府交通安全功労表彰伝達式(市長応接室)

内閣府交通安全功労表彰伝達式が市長応接室で行われて、私も同席した。資料にあるように、朝日町にお住いの舟木さんという方、交通指導員を44年間されているということで、内閣府から表彰を受けられた。三つ桜の交差点のところにずっと立っておられて、あそこを通る小学生は正直少なく、どちらかというと浜田高校の生徒が多いと話されていたが、どちらにしても小学生も中学生も高校生も挨拶をしてくれるということですごく喜んでおられた。逆に子どもたちの方から挨拶してくれて元気をもらっているといったことを話されていたが、家業で洋裁をやっておられて、仕事を持っておられる中で、44年間続けられたというのは本当に頭が下がる思いがしたところである。

③ 10月29日(土)浜田開府400年プレイベント講演・座談会(県大コンベンションホール)

浜田開府400年プレイベント、昨年第1弾があったが、今回第2弾ということで講演・座談会を県大コンベンションホールで開催した。今年は江戸時代の浜田から広がる地域交流といったことで、浜田藩の関係の方で作っておられる会が、今川越に初雁温知会があるが、その会員が約10名ばかり浜田に來られてこの会にも参加された。そして昨年も來られたが、津山美作浜田会、その会員の方も來られて討論いただいた。

開府400年が平成31年になるので、まだあと3年あるが、この間こういったイベントを毎年重ねていって400年を迎えるということになると思う。来年からは400年を迎えるイベントをやるので、教育委員会と観光交流と2本立てで大きな組織を立ち上げて400年を迎えることになると思う。

④ 10月30日(日)第5回浜田市人権尊重のまちづくり推進大会(三隅中央会館)

2年に1回開催される人権尊重のまちづくり推進大会が三隅中央会館で開催された。ジャーナリストの江川紹子さんが講師として來られて、お話を1時間半ばかりされた。2年に1回ということで各自治区を1周して推進大会が開かれた。250の方が参加されて盛大に行われた。

⑤ 11月5日(土)浜田市世界こども美術館開館20周年記念式典(世界こども美術館)

浜田市世界こども美術館開館 20 周年記念式典が世界こども美術館であり、委員方にもご参加いただいた。

私も開館当初、開館業務に携わらせていただいて、20 年経ったのだと感慨深いものがあった。当時開館の指導にあたられた中山さんがスヌーピー美術館の館長になられているが、その方がこども美術館の存在意義や国内外で高い評価をいただいているといったお話を 20 分ばかり来られた方々、市長の方を向いてお話されていたのが印象的であった。

こども美術館も今後の運営のあり方が課題になっているが、また委員方にも考えていただいて、珍しい美術館なので盛り上げていかななくてはいけないと感じているところである。

⑥ 11 月 8 日（火）平成 28 年度全国高等学校総合体育大会体操競技浜田市実行委員会第 4 回総会（県立体育館）

全国高等学校総合体育大会体操競技浜田市実行委員会第 4 回総会が開催された。まとめの会であったが、その中で大会を総括され、特に高校生のボランティア、そういったものの活動に対して全国から来られた方々から高い評価をいただいたといった様な報告があった。

それから決算の終了をもって、この実行委員会を解散するというのもこの会で決定している。年内か年が明けて早い段階に、実行委員会は解散するということになると思う。今浜田高校から事務局に派遣していただいている岸先生だが、岸先生も 12 月末をもって浜田高校へお帰りになるということになっている。

⑦ 11 月 12 日（土）第 5 回租税作品合同表彰式（ゆめタウン浜田）

第 5 回租税作品合同表彰式がゆめタウン浜田にて行われた。これは租税教育の関係で小学生は絵葉書コンクール。葉書に租税についての PR をするといった様な、納税の大切さを訴えるといった絵葉書を作るというコンテストで、合同表彰式は 5 回目だが、絵葉書コンクールそのものは 18 回目くらいだと思う。全国で最初に始まったのが島根県だということで、県内では他県に比べてかなり熱心に取り組まれている作品展だが、小学生は絵葉書、中学生は習字と作文、高校生は作文、そういったものがあるって、それぞれ表彰を受けていた。

毎年学校表彰があるが、学校全体で租税教育に力を入れた学校ということで、今年は長浜小学校が表彰された。

⑧ 11月13日（日）第39回石見地区幼稚園PTA 連合会研修大会
（サンマリン浜田）

第39回石見地区幼稚園PTA 連合会研修大会が開催された。先月の定例会でも少しお話しいただいたが、今年は教育委員会におられる上ヶ迫先生が講師として招かれ、親子の運動遊びといった様なことで、親子そろって体を動かす、スキンシップを図る、そういったものを色々と教えていただいた。

⑨ 11月13日（日）第39回島根県立体育館建設記念島根県体操競技大会（県立体育館）

第39回島根県立体育館建設記念島根県体操競技大会が行われた。高校・中学校の選手については今年度の大会で上位入賞者しか出場できないということでレベルの高い大会である。小学生は色々なクラブチームに入っている子たち全員が参加できるということだった。高校は個人戦しかないが、男女とも浜田高校が優勝していた。中学校も2年生と1年生の部はそれぞれ男女とも浜田一中の生徒が優勝した。小学校は男子1位、2位、女子1位、2位、全部旭のなごみ体操クラブの選手であった。

浜田市体操連盟は宇津委員にも会長ということで頑張っているが、小学校から高校までの選手強化が着実に進んでいて、そういった結果に繋がっているのだなとつくづく感じている。体操連盟だけではなく、体育協会も早く体操のまち浜田の再建をしたいと思っているので、これからも小学生から高校生までの選手強化に取り組んでいただいて、良い選手が生まれることを望んでいきたいと思う。

⑩ 11月16日（水）第65回石見地区中学校新人バスケットボール大会（県立体育館他）

第65回石見地区中学校新人バスケットボール大会が県体であった。藤本委員には開会式にお出でいただいて、午前中大会の様子も見ていただいた。バスケットでいうと圧倒的に、県の東部が強いが、今年の県総体では浜田一中の男子が準優勝、浜田三中の男子が第3位ということで石見のチームも段々と頑張ってきたということがある。しかしながらこれから県東部に勝っていくためにはやはり石見地区全体のレベルアップを図る必要があるといったお話を開会式で少しさせていただいた。どこの学校も本当に頑張っているといった印象を持った。

⑪ 11月21日(月) 藤本孝男氏・教育委員会委員辞令交付式(市長応接室)

藤本委員の辞令交付式が市長応接室であった。

1か月間の報告は以上である。なんとなくスポーツ系のことが多かったが、体育の時期ということでそういったイベントが多かったように思う。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

第39回島根県立体育館建設記念島根県体操競技大会とあるが、体育館ができてから39年ということか。

石本教育長

そうである。昭和52年にできてから39年、毎年大会をしている。

来年は当然40回で記念の大会になるので、今の予定では日体大の体操部が来て模範演技をしてくれる予定である。世界選手権の様な大きな大会と重なる時期であれば無理かもしれないが。大きな大会がなければ白井選手や神本選手も来るかもしれない。

藤本委員

直で見られると迫力も違うし、子どもたちからすれば憧れもあると思う。

石本教育長

それは良い経験になると思う。

宇津委員

人権尊重のまちづくり推進大会は2年に1回ということで、自治区を1周といった表現をされた様に聞いた気がする。

村瀧室長

5回の内3回は浜田、1回が金城、この度が三隅である。

石本教育長

全部回ったのか。

村瀧室長

回っていない。

石本教育長

失礼した。今後旭と弥栄でやる予定はまだないのか。

村瀧室長

未定だが、浜田とそれぞれの自治区を交代でやっていく。

石本教育長

その他はよろしいか。

委員方

特になし。

2 議題

(1) 第1回総合教育会議の議題について(資料1)

小林係長

平成28年度第1回総合教育会議の議題についての資料をご覧いただきたい。昨年度から開催されている総合教育会議だが、従前からあった市長と教育委員方との意見交換会に代わるものという位置付けで大体1年に1回程度は実施の方向できている。今

年度については昨年度の様な大綱を策定するといった義務付けのものはないが、テーマについて教育委員会からテーマを定めて意見交換や協議をするのか、あるいは市長からのテーマを協議、調整をするのかといったところの大まかな方向性を定めていただけたらと思っている。

従前であると総合教育会議というのは市長が主宰をして開催するものなので、市長のテーマがあればそれに基づいて協議、調整をすることになるが、教育委員会からもこのテーマについて開催の要請もできることから、教育委員会からもテーマを定めて開催をしてもいいのではないかとと思っている。

テーマとしては中程にある①教育委員会から提起したテーマを協議・調整する、ということで例示があるが、教育施策に対する市長方針（優先順位）等についてということで、教育予算についてはどの程度の優先配分をするのか、ロードマップにある様な家庭教育推進、学力向上対策、ふるさと郷育、これについての市長方針はどの様なものなのかということを変更して協議・調整をする。

②市長から提起されたテーマを協議・調整する。これも例があるが、市長が常々仰っている様な学力向上や最近では中高一貫教育、以前からは学力調査結果公表、こういったテーマ、市長の提起されたテーマについて協議・調整をするということにするか。

③は以前から意見交換会の内容と同じ様にテーマは設けず、教育行政全般について、それぞれの思いを出し合うということで、若干のテーマは定めてもいいかもしれないが、特に決定をする様なものではなく意見交換という形で1度開催する。

この3つの流れでテーマの設定ができると思っている。これについて本日お示しをすることであるので、何かお考えがあればお聞かせいただけたらと思う。

石本教育長

基本的に総合教育会議は市長が開催されるのが原則なので、市長がこういったテーマで話がしたいということがあれば当然それは議題として挙がるわけで、それ以外に教育委員会としてテーマを出して会議を開催してもらうか、それとも教育委員会からはテーマを出さずに、市長が出された議題だけをやるか、また何も議題を挙げずに自由な意見交換にするか、そういったところか。

小林係長

そうである。あとは市長がテーマがない場合にしても教育委員会から会議の招集を求めることができるので、教育委員会が協議

- をしたいテーマだけで開催することも可能となっている。
- 石本教育長 事務局から提案、説明があった。何か総合教育会議の開催にあたって、こういったテーマで話をしたらいいなど、今の段階で意見等はあるか。
- 藤本委員 まず前段で、テーマに入る前にこの総合教育会議がほぼ全国津々浦々に設置されていると思うが、まだのところも一部あると思う。制度の対応で浜田市は即切り替えしたが、切り替えが教育長の任期が終わるまでは問題ないのか。
- 石本教育長 そこだけでいうと、その部分の切り替えをせず、新制度に移行しなくてもこの総合教育会議だけは 27 年度からは作らなくてはいけなかった。
- 藤本委員 今ここでこういう話が出ているが、例えば市長もせっかく総合教育会議を設置しても 1 年間会議がなかったということでは意味がないので、そうではなく定期的ということにまではいかないかもしれないが、年に何回かは会議がないと教育会議そのものの存在がなくなると思う。そういうことを前提として考えた時に市長はこちらの方からおよそ何月頃という話を持っていけば都合は付けていただけるのか。
- 小林係長 会議のスケジュールにもよるが、開催の要望をすれば開いてくれると思う。
- 藤本委員 その次にテーマをどのように考えるかということだが。私はテーマに固執することも大事だと思う。ただ固執するとそれだけで時間がきてしまう様な気もするので、少しは自由な発想に基づく意見交換もしたいという考えを持っている。
- 宇津委員 ②に市長からの提起されたテーマはおおよそこういうことが想定されるということで例示されているのか。
- 小林係長 事前に市長と協議をしたわけではないので、昨今の発言や指示事項を踏まえてこういったことが考えられるというものである。
- 石本教育長 この中で今市長の頭に 1 番にあるのは中高一貫のことだと思う。これについては非常に今考えているので。
- 藤本委員 前置きは当然大切なことだが、これはこちらサイドだけでは実現できることではない。県の考えが非常に重要である。その辺は県に伝わっていると思うが、伝わっているだけなのか、少しは県は県なりに内部協議などされているのか。
- 石本教育長 確かに昨年の段階で浜田市から県教委に対して要望を出した。その中の 1 つに中高一貫についてテーマとして挙がっていた。そ

の後県教委として先進地を色々視察に行き、勉強はされている。全国の他の県に比べて島根県がこの中高一貫教育について後れを取っているということは十分認識をしている。

高校の再編を県では検討している。この前浜田でも公聴会があったところだが、その会の今後の研究テーマの1つに中高一貫教育について挙がっている。向こう10年間の高校再編計画を来年度か再来年度にはまとめて出されるが、その時には中高一貫教育はどういう風に進めていくのかが載ってくると思う。

今の段階で浜田が一早く手を挙げておくと、県が検討する時に当然県の何か所かに作るということになれば浜田はその候補地の1つに挙がってくるかなという思いがある。1回は県に要望しているが、市長がまた来年の頭くらいにはもう1度浜田市として要望を出したいということで今話を進めているので、それを受けて当然県は何らかの話を出してくると思う。

ただ言われる様にうちをお願いしますというだけで、実際にされるのは県なので。

総合教育会議を開いたら市長から中高一貫教育について色々言われるのは間違いない。この様に考えているが委員方はどう考えているか聞きたいと思っておられるかもしれない。

小林係長

必ずしも結論を出す必要もないだろうと思うし、それをすり合わせて双方合意することもない場合も会議だから、当然あるわけで、その場合は尊重義務というものは発生はしないが、ただ何らかの答えを返してもらいたいという様なことは、開催してあり得ることである。

石本教育長

委員方が色々と言われても聞いてもらえない、言っぱなし、市長が聞きっぱなしで終わりにしては寂しいものがある。

小林係長

今後のできる前後からの動きもあるので、中々その辺りが1回の会議で決まるということは難しいと思うので、継続協議、引き続き協議をするということになっていくのかもしれない。

石本教育長

仮に中高一貫校ができたとして市内の子どもで行きたい子が何人か行った時に、残った中学校の教育をどうするのかというところを教育委員会としては考えなくてはいけない。今までどおりで良いのか、それともそういった特定の生徒が抜けた後の学校がどうなるかということをしつかり検証して、その辺の対応を考える必要が当然ある。そこをいつの段階から、もう遅いか。

小林係長

来年度直ちにということであれば遅いかもわからないが、今後の

石本教育長

先のことを考えれば必ずしも遅いというわけではないと思う。

今の段階で議論を始めても実際に中高一貫校ができるのは5年先か、もう少し先かもしれないし。話が出てからすぐに3年後にできますといった様な話にはとてもならないと思う。校舎もある程度検討する必要もある。

藤本委員

私個人で思っていることだが、これは浜田市教育委員会ではなく県教委にお願いしたいことがある。そういったことを市長が県に要望を出すことがある時に言っていただいた方が、効果があるのではないかと思う。

内容は、高校受験のシーズンはまだ来年だが、公立高校へ校区外、いわゆる県外から何名か受けているが、そうすると県内の高校生が定員枠から外れる場合がある。県立高校というのは県の財政で運営しているわけなので、県外の子どもを受け入れたために県内の子が外れるというのは少し釈然としない。

そういったことを県に要望を出してみたいと思う。市長と出会う時に、浜田市長としての要望として出してもらうわけにはいかないかと思う。

石本教育長

このことは市内中学校の校長先生も関心を持っていることの1つである。憤りを感じられているところである。今まで県外の生徒を積極的に引き込んできた高校は、例えば隠岐島前高校や島根中央高校等あるが、県外から何十人も来る。ただ来ても全体の定員枠には達していない。よって県内の子どもが受験をして、県外生が来たからといってあぶれて落ちるということはなかったが、昨年度初めて矢上高校でそういうことがあった。矢上高校へ広島県内の生徒が10人くらい受験したために地元の子どもが合格できなかったという例があつて、それはおかしいだろうと、確かに問題になった。

このことについて中学校の校長先生方は毎年高校受験の反省とかをまとめて要望を出されるが、その時に既に県教委には届いている。それから8市の教育長会の中でも話が出ている。3市3町の教育長会の中でも少し話が出ている。

県教委にはそのことは伝えてある。ただそれでどういった改正ができたかは分かっていない。

藤本委員

県の税金を使っているので。

石本教育長

県内の子が皆入っても定員が余っているから県外からも受け入れるということなら良い。元々県外枠と県内枠が別々にあつて

取るということならありかもしれない。

議題をどうするかということが事務局からあったが、基本的に委員方からこういったテーマで話をしたいということがあれば、それだけに限らず何でもいいだろうが、とりあえず挙げておけば会議の中で話ができるので。

委員方から特にこういったことを市長と意見交換したいということを事前に聞いておけばいいと思う。

開催時期は12月以降と書いてあるが、たぶんもう12月は無理だと思うので、1月か2月のところになると思う。

小林係長

例えば予算が絡むことであれば12月中に開いておかないと間に合わないということはある。それ以外のテーマであれば、言われる様に1月、2月、あるいは3月ということも考えられる。

石本教育長

こういったテーマで話がしたいということを出していただくのは中々難しい様であればまた宿題にさせていただいて、こういったテーマで話をしたいということをもた次回。予算のことは無理だということで、予算以外のところでテーマがあれば次回の時に、もう1回来月の定例会の時の議題に挙げて、その中でテーマを検討するというようにする。それまで少しお考えいただきたい。

金本委員

時間的にはどのくらいか。

小林係長

2時間くらいである。

石本教育長

1時間テーマについて話をし、1時間は自由に話をするという時間にしてもいい。やり方は色々あると思う。

それでは来月も引き続いてこの議題を挙げておいてほしい。

小林係長

承知した。

3 部長・課長等報告事項

山本部長

平成28年12月浜田市議会定例会 提出議題（資料2）

平成28年12月浜田市議会定例会提出議題についてである。指定管理者の指定の議決についての一覧である。表裏で8点、である。指定管理は5年なので、次の指定管理も5年になるが、ここで下の3つ、こども美術館、石正美術館、文化ホールについては5年から3年という指定期間の変更がある。前回施設の所管換えについて話をさせていただいたが、その時は三隅の中央会館とか多目的研修室とか、それからアクアみすみとかそういったものを三隅の所管から生涯学習課に換える、一元化す

るといった話をしたが、そういったことに合わせてこの周期を5年から3年に、31年までにして、それから新たな3年4年なりということで一括して管理を考える。類似した施設の一元化管理をすること、それからこども美術館、教育文化振興事業団、これは行革の項目に挙がっており、このあり方についても問われているので、この間に検討していくことにしている。

それからサンマリン浜田について。生涯学習課ではなく文化振興課の間違いであるので、修正をお願いします。

予算について（資料3）

補正予算についてである。定例的な扶助費等はあるが、学校施設非構造部材耐震化事業、小学校施設大規模改造事業、この2つは国の補正が出て、今年度中に交付が決まっている。

1つは原井小学校の体育館の天井の耐震化工事。国の1/3の補助を受けて行うものである。もう1つは松原小学校の便所の洋式化、松原小学校は洋式便所がまったくないので、この予算で改修する。この2つが補正予算で対応することになる。

それから公民館施設改修事業ということで、1つは財源振替で、1つは石見公民館の敷地内の外灯を付け替える。これは県の補助を使って直す予定である。

裏が債務負担行為であるが、来年4月から、三隅支所産業建設課から生涯学習課へ所管換えするというに伴い、指定管理期間を5年から3年に変えるということに伴い補正をする。

平成29年度浜田市立幼稚園園児募集要項（資料4）

来年度の市立幼稚園の募集要項である。すでに12月の広報に載る内容であるが、28年度案内と同じ様に定数的には同じ形をとりたいと思っている。

今年度の募集要項の中身が違うところは、2(1)の※印3つ目、原井幼稚園と石見幼稚園の統合について書いてある。実は園長会等でどうも保護者の中でもう統合するといった様な噂もちらほらあるということで、改めて統合はもっと先であるということをも明記してほしいということで文言を加えている。あとは例年通りの募集要項となっている。

行事予定表（資料5）

行事予定がだいぶ少なくなってくるが、この中で11月25日の県のキャリア教育研究大会、それから12月21日平成28年度人権作品コンクール表彰式、これについては事務局で把握し

佐々木課長

岡田室長

ている範囲では委員方に直接ご案内がいているのではないかと思っている。

行事は少ないが、12月に入って11日に、例年やっているがしおかぜ駅伝がある。後ほど説明があるが、今回はコースを一部三隅道路を使って行うという内容になっている。

それから12月13日から14日、県の学力調査が行われる。12月20日には調べる学習コンクールの表彰式が行われる。21日の人権作品コンクールについては後ほど担当課から説明があるので、よろしくお願ひしたい。

平成28年度 第3回 浜田市図書館を使った調べる学習コンクール事業（資料6）

先日浜田市図書館を使った調べる学習コンクール事業の2次審査会を行った。目的については一読いただいて、事業実績ということで開催日時・場所等書いてあるが、11月22日に第2次審査会が行われた。

先ほどの行事予定にもあったが、12月20日に表彰式を行うということで、応募先品総数は減ってきているが、内容的には段々と優れた作品が増えていると思う。

校内審査対象作品総数は1,499点で、応募作品総数が189点ということで行った。

裏面に全国コンクール推薦作品が資料にある6点になっている。低学年の部、中学年の部、高学年の部の優秀賞についても書いてあるが、今年度は浜田城についての調べる学習が多く、例のペーパークラフトを実際に作って一緒に作品として付けているものがあったが、その中の1つ周布小学校5年の小谷くんの作品が全国に行き、ペーパークラフトは付いていなかったが原井小学校の永野くんも全国に行くということで、浜田城シリーズが中々強いというのが印象に残った。

山根課長

第25回浜田 - 益田間駅伝競走大会（しおかぜ駅伝）の開催について（資料7）

先ほどの行事予定にもあったが、第25回浜田 - 益田間駅伝競走大会しおかぜ駅伝が開催される。この度は25回という節目の大会になる。先ほどもあったが、12月18日開通予定の浜田三隅道路の一部を使ってコースの中に組込むということになっている。その他に2か所コースが変更になり、全体の区間としては41.495kmと700m短くなっている。今年度は山陰道を

渡邊課長

通る関係で特別な開催ということになっている。

12月11日(日)の9時30分に益田陸上競技場をスタートとしている。一覧表で字が太くなっているところが変更箇所となる。区間と距離について太字のところの変更となる。参考として下のところにあるが、昨年度の浜田市関係チームの結果はその通りとなっている。

昨年度は42チーム出場ということだったが、今年度は現在のところ41チームということになっている。

裏面にそれぞれの浜田市関係のチームの出場予定者ということでメンバーを載せている。

浜田城周辺整備検討会の開催状況について(資料8)

浜田城周辺整備の現在の状況について説明する。この資料は11月14日に地域プロジェクト推進室から議会の全員協議会へ出された資料である。

浜田城周辺整備事業だが、公園整備は今年の当初予算にも通っており、進入路あるいはこれから城山の整備をしていく。またもう一点の大きな問題である浜田歴史神楽資料館のことについて8月1日に新たに委員を決めて検討会を2回ほど開催した。9月28日と10月27日、11月30日を予定している。

この中では第1回と第2回の意見ということで、第1回に出た意見を列記している。8月1日には出雲弥生の森博物館と荒神谷博物館に委員方が視察に行ったが、利用者推計を出してほしいという意見が出た。あとは色々と、多目的ホールのこと等あるが、読んでいただけたらと思う。

2ページでは第2回の検討会について。これは歴史神楽資料館の整備についての検討を行ってきた。賛成の意見がほとんどである。その中で後で説明するがA案B案C案と2、3種類提示をして、その中でどれが1番好ましいかという聞き方をしたところである。

構成メンバーが歴史文化関係、神楽関係の方々がほとんどのため造らない方が良いという意見は今まで出ていなかった。ただ今言った様に大きさや今後のランニングコスト、建設費も含めて色々な意見が出ている。

集約すると多目的ホールを整備しないB案を支持する意見が多かったということである。

続いて3ページである。検討委員会のメンバーを載せている。

基本的には昨年開催した時のメンバーがほぼ継続となっている。

4 ページは利用者推計ということで、中々城山の利用者の現在の数字を把握するのは難しく、また今後の整備が終わって、あるいは資料館ができてからの入場者というのは中々難しいところがあるが、あえて特に城山公園は護国神社があるが、どのくらいの人が行っているのか護国神社に聞き取りをして、現在1年で約1,000名は上がっているのではないかとということである。将来整備されたらどのくらいになるかということでは3倍や4倍、またウォーキング大会や遠足等もあるということで6,000名という数字を出している。

現在花見は桜がもう病気でやられているので、1,000名程度になっている現状である。

(仮称) 浜田歴史神楽資料館ができた時にはどのくらいの推測になるかということだが、現在の郷土資料館及び他の資料館を合わせて来館数が約3,000名。それが将来見込数として約16,000名。

石正美術館が現在17,000名程度になっている。16,000名といっても展示が9,000名、公演が7,000名、これは多目的ホールのありなしで変わってくる。多目的ホールなしとなると展示だけになるので9,000名、10,000名弱という数字になるだろうということで、これもあくまで推計である。

5 ページをご覧いただきたい。左からA案B案C案としている。これくらいの大きさであればどういった機能でどのくらいの金額になるのかといった目安である。御便殿を合わせてということになり、御便殿が539㎡あるので、A案でいくと新設建物と多目的ホール、舞台付きの神楽の舞える規模ということで、2,237㎡。事業費については13億489万円。ランニングコストとして毎年6千万円必要ということになる。その下は現在のかかっている費用で、差し引きすると5千万円になる。

同じ見方でB案については展示室のみで神楽はホールでは上演しないというもの案である。1,984㎡で事業費が約11億3千万円。維持管理は少し減って5千4百万円。現在のランニングコストが4千4百万円。

C案については多目的ホールなし、平屋建てで小さく造るということである。1,296㎡で8億5千6百万円。ランニングコ

ストが4千5百万円。維持管理費が3千4百万円。

先ほど話した様に検討会の中ではB案が良いのではないかという話が出ている。収蔵庫と展示室の割合は今後の課題ということになっている。

検討会については以上だが、先般議会との意見交換会が11月18日に行われた。その中では賛否両論色々が出たが、議会では反対という意見も出ている。それは主に財政的に厳しい中で施設を造るといのはどうかということ。あるいは既存の施設で活用できないのかといったことであった。賛成の方もおられて、せっかく作るなら十分という意見もあり、またできるだけ財政負担のない様なものにすべきだという意見など色々出ており、意見交換会ではあるが中々今の段階でまとめていくのは難しい状況なのかなと思っている。

最後に利用者推計を出している。どのように出したかということ載せている。

村瀧室長

平成28年度浜田市人権作品コンクール入賞者等一覧表(資料9)

浜田市では人権に関する理解と認識を深め人権意識の向上を図るため、人権作品コンクールを昭和59年から実施しており、今回が33回目となる。小中学校の児童生徒から人権作文とポスター、並びに市民から標語を募集した。

そして、1階市民ロビーや世界こども美術館において作品展示を行い、また人権作品集を作成し、啓発に活用している。3月にはリーフレットを作成し、全戸配布を行っている。

今年度は計195点の応募があり、この表のとおり入賞者を決定した。委員方にはこれからのご案内となるが、11月21日午後3時30分から市役所4階講堂において表彰式を行うので、ぜひご出席いただけたらと思う。

大崎分室長
(代理:小林係長)

第31回金城マイペース健康マラソン大会 開催要項(資料10)

12月4日(日)に第31回金城マイペース健康マラソン大会、及び第31回金城駅伝競走大会が行われる。開催要項等の、ご案内になるので、またご覧いただけたらと思う。

森下分室長

安城公民館まつり 弥栄自治区人権を考える集い(資料11)

安城公民館まつり、弥栄自治区人権を考える集いを行った。昨年までは12月中旬に行っていたが、昨年までの反省も踏まえて1ヶ月前倒しで11月に開催した。昨年からは毎月弥栄会館

で実施しているまちづくり委員会の朝市のや市、それから今まで単独で開催していた人権を考える集いを昨年から公民館まつりに合わせてやるということで来場者を少しでも多く迎える意味合いで昨年からそういう風になっている。今年度も同時開催という形で午前中のや市、公民館まつりに約 250 名、昼からの人権を考える集いに 120 名程度の参加者を得て、開催することができた。裏面にはその状況を写真として載せている。

石本教育長 今資料のあるところについて報告いただいた。このところで委員方から質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員 教育委員会ではないかもしれないが、神楽資料館について色々と検討されているが、毎週土曜日開催の神楽をやっているのは教育委員会ではなく他の部署か。

渡邊課長 あれは観光交流課の石見神楽係がやっている。

藤本委員 私は 2 回以上 500 円払って行ったが、観光客の方ではなく家族の方や近所の方がほとんどではないかと思う。狙いは観光客であると色々と出ているが、少し違うかなと思う。

石本教育長 ある会場に行くと気の毒に思った。

石本教育長 市内に泊まった観光客の中で行きたいと思われた方は、たぶん市内のホテルからタクシー等で送迎するという考えなくてはならない。

藤本委員 観光客ではない家族の方がだいぶおられる。私が行った時だけかもしれないが、2 回ともその様な感じだった。

石本教育長 三宮神社もかなりあるが、やはり半分の方は地元の方である。

藤本委員 観光客ではないと思う。それを全部観光客だとカウントされると行き違いもあると思う。

金本委員 家の子も浜田と益田と行っている。

藤本委員 まんでやっている時に行ってみると、見る人が広島神楽とだいぶ線引きしている様に思う。石見神楽の時はざわざわしていて、広島神楽の時はみんなきちんとして見ている。

栗栖分室長 文化ホールで行われる神楽大会、これは浜田だけと書いてあるが、決して浜田だけでなく大田にもあり、邑智郡にもあり、益田にも江津にもあり、浜田だけにあるという感覚がおかしい。大田の方からよく言われる。

栗栖分室長 前職として発言させていただく。三宮神社は確かにほとんどの

方が地元の方が多いが、私が担当していた時には約1割は観光やビジネスでお越しになったお客様が来ていた。最近では段々その割合が増えつつあるということで、全員をカウントしているということはないと思う。

佐々木課長
石本教育長

この前大型の観光バスが来ていた。

あれは旅行会社等にそういった神楽を見たいという要望が入って、わざわざ来られてそのためにあそこで神楽をやった。

神楽をやっているから来たのではなく、行きたいからやってくださいという要望でやった。大型バス何台かで来ている時はそういう時である。

宇津委員

安城公民館まつりは午前中に約250の方が来たということだが、写真を見ると食事の準備をしているのではないかと思うが、昼をそこで過ごして午後の人権を考える集いに120名、非常に多くの方が来られたのだなと思ったが、そのお昼の部を挟んでの人数関係はどうなっているのか。食事を出されたのか、自由に食べられる様なコーナーを設けられたのか。

森下分室長

食事のエプロンのような恰好をされている方は朝市の続きで営業許可を取ってうどんを出されたり、婦人会で物を販売して、それも食事になる様なものを販売していただいた。昼からの120名というのはたぶん午前中からずっとおられた方がほとんどである。昼からの人権だけに来られた方も何名かいるが、そここの狙いもあってセットでやろうということをやっている。

宇津委員

人が集まりにくいという状況下の中で、何か工夫をすることでこの様に良くなるのかなという気がするので、今後ともよろしく願いしたい。

石本教育長

その他はないか。

資料6の関係だが、昨年に比べて応募作品の数が、特に校内審査の数が極端に減っていると思うが、それについて理由はあるか。

岡田室長

学級でやったことにするといったことが結構あったが、それを審査でも難しいという様な点が出てきたり、これくらい厚いものになったものを出している一方、学級でやったものは新聞で作っているとか。そういったものなので、司書教諭も淘汰を校内でおられるのかなと、そういうものよりも、それではもう上には上がれないよということでご家族も本当に何週間もかけてやって

石本教育長 岡田室長	<p>おられる様なものが挙がってくる様になってきているので、段々と量より質に変化しているのかなと。</p> <p>グループのものよりも個人のもが増えているのか。</p> <p>個人でもものすごくやっている様なものが増えている。子どもだけの力ではない。ご家族一家総出で、おじいちゃんが何十回も連れてきましたと、そういったものが出てくる様になっている。</p> <p>プレゼンテーションコンクールなどにも出される様なものも含めて応募される様になってきている。</p>
石本教育長 岡田室長	<p>量より質だということか。</p> <p>質は上がってきている。ただ、まだ中々出品してくださらない学校も数校あるので、そこは継続していきたい。</p>
石本教育長 岡田室長	<p>対策として、もっと皆が取り組むとか。幅広い活動にしなければ。この作品募集の意味がない。そのことをもう少し考えて。</p> <p>全校で取り組んでいくと点数が増えるのかもしれないが、限られた学級でやっている可能性もある。</p>
石本教育長	<p>負担がかかるようではいけないが。</p> <p>他はよろしいか。</p>
各委員	<p>特になし。</p>
石本教育長 栗栖分室長	<p>資料のないところで報告等はあるか。</p> <p>旭小学校について、県知事へ緑の少年団の活動受賞の報告に行った。昨日の新聞に掲載された。</p>
石本教育長	<p>あの新聞記事を見た市長が私のところには来ないのかと思われると思う。</p>
栗栖分室長 石本教育長	<p>これから日程調整する。</p> <p>よろしくお願ひしたい。</p> <p>その他はよろしいか。</p>
各課長	<p>特になし。</p>

4 その他

(1) 浜田市 PTA 連合会と教育委員との意見交換会日程について (資料 12)

小林係長	<p>以前定例教育委員会の中で開催の決定、承認をいただいた、このことについて日程の調整をしたいと思う。2 枚目の日程調整表に、参加、ご都合の可否を記載いただき、私まで提出をいただけたらと思う。</p> <p>大体 1 月 18 日、19 日、20 日の 3 日間で予定をしている。時間帯が 3 つある。大体、市 PTA 連合会との意見交換会は夕方に</p>
------	--

なるということであるが、午前中も対応可能の場合もあるかもしれないとのことなので、一応載せている。

テーマについてはこれから事務局の青少年サポートセンターで調整をいただき決定していくという流れになるので、この3日の内の日付で開催する。ご都合の付く日に開催をしたいと思うので、よろしく願いしたい。

石本教育長
小林係長
石本教育長

これは分かれば今日書いて出してもらおうのか。

それでも結構である。

今日のところでご都合が分かる様であればご記入をしていただけたらと思う。

(2) 浜田市教育委員会教育長及び委員名簿の配付について

小林係長

冒頭教育長からもあったが、委員方に配付している教育長及び委員名簿である。また中身をご確認いただけたらと思う。

(3) その他

小林係長

もう1枚委員方にお配りしている資料について説明させていただきます。

平成29年の市民新年賀会の出欠の案内である。また出欠のお知らせを私までいただけたらと思う。申込締め切りが12月9日になっているのでこの日までに口頭で結構なので、私までご連絡をいただきます様、よろしく願いしたい。

石本教育長

新年賀会の出欠についてまた報告をよろしく願いしたい。

次回定例会日程

定例会 12月22日(木) 13時30分から 浜田公民館第3研修室

14:53 終了